



《2013 S L メンバーズブック 記載内容訂正》

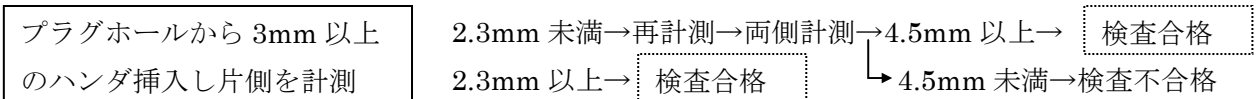
標記の件、2013 S L メンバーズブック 63～64 ページ、“●スキッシュエリアの規定” に関して、“簡易計測方法” を記載しておりましたが、計測時の統一解釈を図るため、記載方法を変更致します。

記

【変更箇所】2013 S L メンバーズブック 63 ページ中段～64 ページスキッシュエリアの規定

YAMAHA カデット、YAMAHA カデットオープンの両クラスを除く、全クラスでスキッシュエリアの確保が規制されます。(～中略～) ※これによって、『シリンダーヘッドガスケットの厚み 0.4mm 以上あること』という規定はなくなります。簡易検査の方法として、次の検査を実施する事が認められます。プラグホールから 3.0mm 以上のハンダを入れ、ドライブ側もしくは電気側のどちらか一方を計測し、2.3mm 以上あれば検査合格とします。

(～中略～)



(64 ページ)

○ 計測方法<簡易計測方法>

プラグホールから 3mm 以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所(ドライブ側と、電気側のいずれかのスキッシュエリア)にセットし、クランクシャフトを1回転させ、潰れたハンダの厚みを計測します。潰れたハンダの厚みが 2.3mm 以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします。

<両側計測方法；簡易検査で片側 2.3mm 未満の場合>

(～中略～)

スキッシュエリアの簡易計測手順

- ②プラグを外し、ホイールから排気ポートに対し直角方向のドライブ側または、電気側のいずれかの所にハンダを挿入します
- ④つぶれたハンダのドライブ側、電気側のいずれかの厚みが 2.3mm 以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします

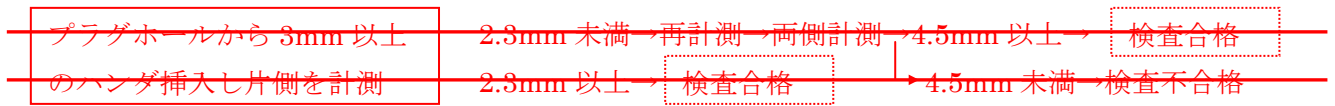
スキッシュエリアの計測手順 ※簡易検査で数値が不足した場合

【変更内容】

● スキッシュエリアの規定

YAMAHA カデット、YAMAHA カデットオープンの両クラスを除く、全クラスでスキッシュエリアの確保が規制されます。(～中略～) ※これによって、『シリンダーヘッドガスケットの厚み 0.4mm 以上あること』という規定はなくなります。~~簡易検査の方法として、次の検査を実施する事が認められます。プラグホールから 3.0mm 以上のハンダを入れ、ドライブ側もしくは電気側のどちらか一方を計測し、2.3mm 以上あれば検査合格とします。~~

(～中略～)



(64 ページ)

○ 計測方法 ~~←簡易計測方法→~~

プラグホールから 3mm 以上のハンダを挿入し、排気ポートに対し直角方向の指定された箇所（ドライブ側と、電気側）にセットし、クランクシャフトを 1 回転させ、潰れたハンダの厚みを計測します。ドライブ側、電気側それぞれを計測し、潰れたハンダの厚みの合計が 4.5mm 以上とします。

<両側計測方法；上記検査方法で合計が 4.5mm 未満の場合>

(～中略～)

○ スキッシュエリアの ~~簡易~~ 計測手順

②プラグを外し、ホイールから排気ポートに対し直角方向のドライブ側および、電気側の両方にハンダを挿入します

④つぶれたハンダのドライブ側、電気側の厚みの合計が 4.5mm 以上あればスキッシュエリアの検査は合格とします

スキッシュエリアの計測手順 ※上記検査で数値が不足した場合

<適用時期>

2013 年 7 月以降